

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズ

2020~2021年度 No.255

3 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ



強調月間：BF
ワイズメネット

今月の聖句

主よ、あなたが世に来られるはずの神の子、メシアであると私は信じております。

ヨハネによる福音書 11 : 27

3月第1例会(揚がれ!希望の凧 2021)

日時：3月6日(土)午後1時~

場所：大田原市ふれあいの丘 芝生公園

内容：東日本大震災から10年。被災地を思い、「震災復興」と「平和実現」を共に考える。世界につながる大空。

揚がれ!希望の凧 2021

震災を語り継ぎ、被災地を思い、共に考える

那須会場



2021年3月6日(土) 13:00~15:00

活動場所：大田原市ふれあいの丘 芝生広場(大田原市福原1411-22)

参加費：無料(駐車料金等)

持ち物：凧(マスク着用にご協力ください。)

申込み：当日会場にて受付をしてください。

事前の申込みはありません。

※参加される方は受付にて氏名・連絡先(電話番号の記入して)を記入いただきます。の記入をお願いいたします。

※雨天中止です(少雨の場合は様子を見ながら行います)

問合せ：028-624-2546(平日9:00~19:00)

東日本大震災から10年を迎えます。「震災復興」と「平和実現」を願って、全国各地で「希望の凧」が揚げられます。「希望の凧」にはどんな意味があるのか、私たちが住み込む大空は被災地にそとで世界に繋がっています。大空高く「希望の凧」を揚げ、私たちの願いを伝えましょう!

子どもから大人まで、どなたでも参加できます。昨年は残念ながらコロナの影響で開催することが出来ませんでした。2021年は、那須会場の他に、宇都宮会場にて「希望の凧」が開催されます。

【共催】那須YMCA、那須ワイズメンズクラブ

那須YMCA

公益財団法人 とちぎ YMCA 〒320-0041 栃木県宇都宮市松原 2-7-42 Tel:028-624-2546 Fax:028-624-2489



2020~2021年度 主題

国際会長：(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)

「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

アジア太平洋地域会長：(AP) David Lua(台湾)

「変化をもたらそう」

東日本区理事：(RD) 板村 哲也(東京武蔵野多摩)

「変化をたのしもう!」

北東部長：南澤 一右(仙台青葉城)

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう!」

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：藤生 強

ブリテン：田村 修也・村田 榮

2月例会データ(出席率：80%)

在籍者 6名(内 功労会員1名) 例会出席者 4名

メネット 1名、ゲスト 4名

3月 Happy Birthday

3/13 田村 修也 メン

4月第2例会(役員会)

日時：4月6日(火)午前11時30分から

場所：那須町 タラゴン那須2(昼食をとりながら)

4月第1例会

日時：4月6日(金)午後1時~

内容：那須聖園老人ホーム タオル等を持って訪問し、現況等とお話を聞く

場所：那須町寺子丙1498-2

TEL 0287(72)0809

巻 頭 言

ちかごろ思うこと

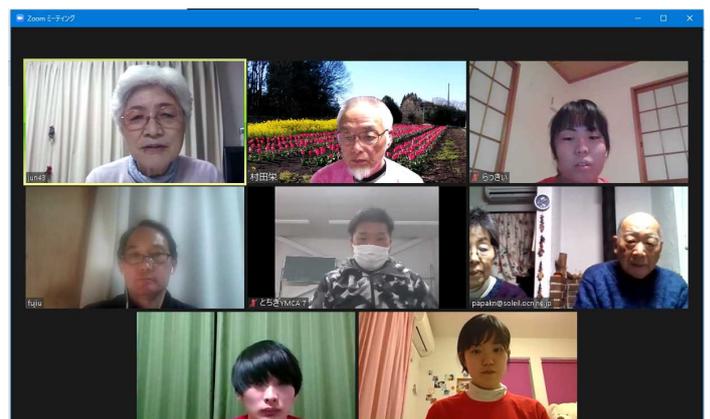
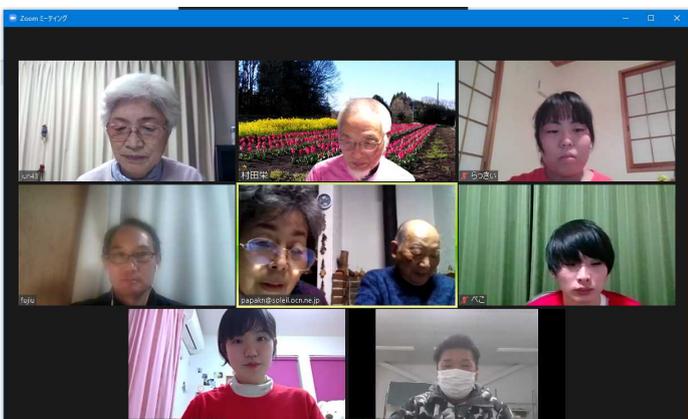
村田 榮

新型コロナウイルスの話題が出て、はや1年が過ぎた。最初は、中国で猛威を振るい、対岸の火で、中国は大変な状況にあると思っておりました。豪華客船が東京に接岸して、乗客・乗務員の中に新型コロナウイルスの患者が発生しているとの報道の時も何とか解決できるであろうと楽観視をしておりました。外国から帰国する方々の中にも新型コロナウイルス患者が含まれ隔離するとの報道で、楽観視できない状況が生まれつつあるとの理解でした。だんだんと蔓延する状況が現れてきて、私たちの行動も制限されてきました。ワイズの活動も何時ものようにみんなが集まり例会を開くことができなくなりました。お年寄りには重症化しやすいから注意を払うようになりました。コロナ禍の中で新しい活動方法として、コンピュータの機能を使った、ZOOMによる例会形式が取り入れられてきました。お年寄りにとっては難題です。那須クラブも、2回の例会をその形式で行うことができました。新しい進歩です。

3蜜を避けての活動制限では、すべての活動が中止に追い込まれる事態となりました。YMCA、学校等でも活動が中止されました。大学の学生たちも登校できない事態になりました。観光業・飲食業等に対する制限が加えられて、厳しい事態となりました。又、アジア学院のように世界に開かれた活動を行うところでは、学生が入国できない事態となりました。一方では、患者受け入れによって、病院のひっ迫と医療従事者に対するか荷重労働が大きいのしかかってきました。

私たちの毎日の生活も大きく変化をしてきました。マスクをして、3蜜を避け、ソーシャルスタンディングをとり、「うつさない・うつらない」を実践し、自由に外出する機会を減らすようになりました。全ての方々が注意を払っていても新型コロナウイルスの猛威は拡大するばかりです。ワクチン接種（特效薬？）が始まるようです。でも、新型コロナウイルスがなかった時代に戻っていくことはありません。インフルエンザと同じように、「With コロナ生活」予防をしながら、どう行動をとるのが求められています。皆さんご留意ください。

東日本大震災から10年、復興が進んでいることに感謝です。しかしながら、道は半ばであると感じます。新型コロナウイルスの影響が起きて以来、1年以上被災地に訪問もできません。皆さんどうしておられるのかと思います。申し訳ありません。特に福島第1・2原子力発電所による事故の後遺症は、重くのしかかっています。復興・復旧までに途方もない年月と財力が必要です。何か急いで、地元に戻れるようにしているようにしかしているようにしか思えません。政府は、復興を急ぐだけのような気がしてなりません。10年たっても、宮城・福島・茨木で地震はおきています。東日本大震災の余震であるとのことです。10年前を思い出す出来事まだまだ起きております。東南海地震が起きないことを祈るばかりです。皆さんお元気でお過ごしください。サンマの独り言でした。



2月第1例会（ユースリーダー報告）

日 時：2月22日（月）午後7時～

場 所：ZOOMによる例会

参加者：河野、田村、藤生、村田の各メンバー、田村メネット。ゲスト：平山主事、五十嵐 啓介（ベコリーダー）、古谷 真菜（まなびんリーダー）、茨城 安里（らっきいリーダー）

栃木県に発令されていた新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言は解除されましたが、感染予防のため集会ではなくZOOMを利用したオンラインにて2月例会を行いました。

「ユースリーダー報告会」をテーマに、YMCAユースボランティアリーダー3名をゲストに迎え、彼らが参加した「第51回 全国YMCAリーダー研修会」（通称：全リー研）の報告をして頂きました。今回の全リー研は、2020年9月19日（土）～21日（月：祝）の3日間、六甲山YMCAを会場に行われましたが、コロナ禍のため参加者の半数はオンラインでの参加となり、とちぎYのリーダー3名もオンラインにて参加をしました。

多くの仲間との関わりに刺激を受けたようで、学びと気づきについて報告がありました。基調講演からは、『マイクレド』（自分の信条）という考え方を学び、自分が目指すべきリーダー像について考える機会を得た」「リーダーシップを発揮するには、多くのスキルを高めなければならないが、『ほめるスキル』は子どもたちとの関わりの中でとても大切であると知った」など多くの学びがあったようです。また各自が所属したグループにてテーマを決めて話し合いをした中で、「YMCAを知らない子どもたちに、YMCAをどのように知ってもらおうか」「キャンプ終了後の思い出会を活動報告会とし、友達を招待してYMCAを知る機会を提供するのはどうか」「障害について話し合ったが、世の中の色々な生き辛さ『障害』についての勉強会を行うのはどうか」「人は誰かに肯定／認められことが大切だと思う。それを体感出来るように子どもたちと一緒に何かをしたい。（今はコロナ禍のためボードゲームを一緒に作っている）」など色々なアイデアが挙がっている様子の報告もありました。その中でオンライン開催だった良さもあったようで、今でもリーダー同士オンラインにて繋がって話し合いを行っているとのことでした。

河野会長からは、「とちぎYMCAが位置する東日本のYMCAと西日本のYMCAでは、考え方に違いがある。全国のリーダーとたくさん話し相談することによって、皆さんが刺激を受け成長することを願っている」「研修から半年経つが、その時に感じた気持ちを今も持ちながら活動をしているか、その感動を忘れないでほしい」「『ほめる』はとても良いことである。それによって人の良いところを見つける習

慣が身に着き、多くの人との良い関係作りに役に立つ」などのメッセージがありました。

私たちもリーダーたちとの関わりの中から、忘れていた気持ち・感動・学ぶ姿勢を再確認する時間となりました。

3月第2例会（役員会）報告

日 時：3月2日（火）午後1時～

場 所：河野会長宅

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、

役員会に先立ち、塩那森林管理署を訪ねて、山浦指導官にお会いし、春の植樹計画について相談をした。

協議事項

1. 5月例会について

指導官との話の感触であれば、5月の植樹例会は、5月中下旬であれば行えそうである。但し、コロナウイルスが落ち着いていれば。日程については、会長が4月中旬に指導官と電話確認を行う。

2. 3月例会について

3月6日（土）午後1時からの「揚がれ！希望の風2021」を第1例会とする。

2. 4月役員会（第2例会）と第1例会について

4月6日（火）午後1時から、那須聖園老人ホームの訪問。集まっているタオル等を持参する。施設の現状等についてお話を伺う。

第2例会（役員会）は、那須で昼食をとりながら行う。昼食場所は、パイの店（タラゴン那須2）那須町高久乙湯道東2725-59 Tel 0287（73）8774（村田が予約済）

集合場所 那須街道の植樹会場である駐車場に11時20分に集合。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第95回）

田村修也

しかし、資本主義経済の歯車がまわりだし、政府の鉄道敷設政策の決定などの社会情勢の変遷は、文作らの目標達成に組するところとならなくなった。経済不況によって、株主が在京者へ移り、明治17年頃からは官側も運河計画を放棄し、灌漑水路の構築と原野開墾畜産植林に主点が移行した。

文作は不本意ながら那須開墾社内直営事業を縮小、株主への土地配分を行って開墾成績は自主計画の展開に委ねた。一方で新村西那須野の条件整備に大きな寄与を行っていった。西原における主要道路の開通、学校社寺設立への援助、移住者の招致定着などに意を注いで百年の拓殖の基礎を造成したのである。

文作終焉直前に書き留められたところによると「業なかば」として大運河実現の夢をなお見失うことなく、終始これにかけた素力に「憂心ヤムトコロヲ知ラザル次第第二御座候」と記している。

西原開墾も水路の二次拡張事業も文作にとっては二次的な事業であった。今日の那須野が原開発の基礎をなした大いなる遺産も、それを創造した一人の先駆者にとっては未完の計画のわずかな一部に過ぎなかったのである。

明治維新直後から不毛の那須野が原に開発の未来像を描き、事業創生の原動力となった一人の人間に、歴史の持つ一回性は文作を選び、文作はこれに答えて57年の生涯を先駆者として完結した。

印南文作さんの逝去は那須野が原開拓事業にとりまして一つの歴史となりました。その後、矢板 武さんが第二代社長となり新たな展開を迎えることになりました。

明治21年(1888)1月21日に東京星が岡茶寮で開催された株主総会で、印南文作社長の逝去に伴う後任社長選挙の結果、矢板 武さんが社長に就任することになりました。武さんは39才でした。幹事には斉藤半次郎さんに決まりました。

那須開墾社の事業はすでに明治16年頃から、経済不況のため株主の移動が始まり、明治19年までには地元株主から総株数の約7割近くが東京方面の有力者の所有となっていました。そして、株主の中には直営で開墾を行う者も出てきました。

しかし、多くは土地所有を希望するもので、明治20年2月になって、拝借地全部の払い下げを受ける段階には、那須開墾社自身も合資共同の結社として事業方針の転換を余儀なくされる状況になっていました。それは、直営事業の縮小と、株主の個別開墾という方向でした。

株主総会における重要な案件は土地の分割とその方法でした。所有の建物、器具、家畜等を売却して、農耕畜産を廃止すること、移住民に関すること、株主に分割した土地の受託官吏を行うことなどでありました。

矢板 武さんは社長就任にあたって、社長所見とも言うべきものをご自身の著書「那須開墾誌」に記していますので、そのまま記載いたします。

「明治18年本社を烏森区第二農場に移転するや、第一農場は安藤治輔を以て主任とし、既墾地はなるべく移住民に下作せしむるの方針を取り、第二農場は齋藤半次郎を以て主任とし、爾来明治廿年迄同一方針を以て進行せり。然るに印南社長は21年1月7日病没したるを以て矢板之に代れり。既往7ケ年

の経歴に依って案ずるに本社農作地の範囲既にきに廣亘り此上度を過ぐれば却って疎に流れ収支償ひ難き虞あり。依て寧ろ移住民数百戸に達せる今日に於ては自作を廃し既成開墾地は移民に下作せしめ、本社は専ら植林の方針を取り観象台以南の土地は株主各自に分割し、各所有者をして義務開墾を為さしめ且つ其所有地に移民を為さしむるの規則を定め各々適意の設計により経営せしむるの勝れるを認め、本年の初めに至り終に土地分割を実行せり。」

(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

今年も、那珂川北部漁業組合様に全面的なご協力をいただき、年中組の子ども達全員が鮭の稚魚放流の機会を与えられました。

園としては、コロナ感染予防の視点から、屋外行事であること、1クラスバス1台での移動、放流もクラス単位で行うのであれば可能と判断しました。漁協様もその旨をご理解いただき、実現の運びとなりました。漁協の皆様には、寒風のなか、説明も放流も1クラスごとの対応をいただき、例年より時間もかかり大変であったと思います。お陰様で子ども達は素晴らしい経験をさせていただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

ところで、東日本大震災から10年を迎えようとしています。

当時、那須YMCAは、福島県から市の保健センターに避難しているご家庭の子ども達を対象に幼稚園と共催で「遊ぶ会」を開いたり、被災したアジア学院の復旧作業に加わったりと地域に根ざした活動をして下さいました。

さて、今週出版された「世界3月号(岩波書店)」から、東電原発事故に関して「県境の町(吉田千亜)」という連載が始まり、この町に住む何人かの人と事故という設定で、幼稚園も記されています。

栃木県北部は、福島県の中程度の放射能汚染がありながらも、県が違うということで、子ども達の健康検査も補償も行われていません。この公害で幼稚園は、今も陰膳方式の給食検査、園の畑からの産物、木の実の放射線量検査をアジア学院ベクレルセンターに依頼しています。キャンプ場は、放射線量が高いところがあり、一昨年の冬に解体しました。山林観察園にもこの10年間には行ってません。この幼稚

園の大切にしてきた自然を通しての教育が一部出来なくなっています。除染前の園の畑の土は2、000Bq/kg、羊の糞は760Bq/kgもあり、草や野菜くずを食べた羊や兎の糞が畑の作物の肥料になり、そこからとれた野菜を給食でいただく循環型の環境教育も出来なくなりました。

ご家庭も一時的に避難されたと方もあり、精神的にも大変な状況におかれまして。那須塩原市、大田原市、那須町の住民7,000人が、2015年6月にADRを申し立て、福島県の自主的避難対象区域と同等の1人最大72万円の支払いを求めました。主催は栃木県北ADRを考える会。協賛団体は、那須塩原市内の私立幼稚園全園、大田原市からはひかり幼稚園、なでしこ幼稚園、那須町からなすみふじ幼稚園が参加。そして、後援は那須塩原市でしたが、結果は門前払いに終わりました。

出来事の羅列になりましたが、今回はこのようなことがあり、現在も続いていることを知っていただきたく記しました。

(しらゆり 2021.2.12号 加筆修正)

アジア学院たより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

縮む「社交」の場

コロナ禍のアジア学院の2020年度を振り返って、私は3つの大きな学びがあったと考えている。それは

1. コミュニティの大切さ
2. 日本にとっての外国人の意味、意義
3. 人間にとっての社交の場の大切さ

である。この中で、今日は3の「社交」の大切さについて触れたい。

アジア学院はコロナ禍の中にあっても、訪問者や短期の滞在者こそ大幅に減ったが、7カ国から11人の学生、3カ国16人の長期ボランティアに恵まれ、職員を含めると平均40-50名の共同体で生活を送った。コロナの感染対策によって普段の研修スタイルも生活スタイルも大幅な変更を余儀なくされたが、常に共に生活を作り上げる仲間がいて、喜びや悲しみを共有し、共に成長する喜びを感じることができた。社会で問題になっている孤立や孤独を味わうことはなかったのは、本当に恵みであったと思っている。

それでも、特に若いボランティアたちから、アジ

ア学院に来るまでにそれぞれの場でいかに孤独や不安に耐え、先の見えない恐怖を味わっていたかという話をたくさん聞いてきた。

そんな時、2月11日の朝日新聞で、京都大学の山極寿一総長先生の「コロナ 縮む社交の場」という記事が目にとまった。

山極氏は「社交」の場というのは、ただ人が集まってワイワイして楽しんでいる場ではなく、劇作家の山崎正和さんの言葉を引用して、「私たちが文化的な生活を送る上で欠かせない場」だと主張した。

「そこは家の外と私室の中間に設けられた客間のようなところであり、くつろぎと儀式的な雰囲気も兼ね備えた場（例えば音楽ホール、舞踏場、レストラン、酒場）」だと説明した。大学生で言えば、大学生の生活のほぼすべて、つまり大学という場、ゼミ、サークル活動、バイトなどがその「社交」の場に当たるだろう。この1年、私たちは、特に若い人たちはどれほど多くの「社交」の場を失っただろう。

なぜ人間には「社交」の場が必要なのか。まず山極氏は「社交にはその場に応じた礼儀作法があり、参加者は自らの表情も発言も内面の感情も、その起伏に合わせ協力してリズムを盛り上げねばならない。行動の全体を音楽のように一つの緊張感で貫くことが必要」と説明し、そのリズムこそが社交を作り、社交の積み重ねが文化として人が共感する社会の通低音になると言った。つまり社交は文化そのものであるというわけだ。

しかしオンラインだとこれができない。小さな画面には相手の顔しか見えないから（それも一方向からのみ）、服装も、体全体から伝わる表情、感情、熱量、空気感も伝わらない。結果、共に作り上げるリズムみたいなものは生まれにくいというわけだ。私もこの1年多くのオンライン会議やワークショップ等に参加して、なるほど「情報は伝わっていると感じるのだが、物足りなさやぬぐえなかった。それがこの「共に作り上げるリズム」のようなものであることがわかった。目の前にいれば何の努力も工夫もしなくても生まれるはずの空気感、リズムがいつまでたっても生まれないことがあるのだ。そこにはあるはずのものが無い、生まれるはずのものが無い虚無感のようなものが残るのだ。1年間オンラインだけで授業を受けてきた大学生は、毎回大量の「情報」とともにこの虚無感を植え付けられてきたわけだ。

「であれば、やはり人々は集まりリズムを共有する試みを怠ってはいけない」と山極氏は主張する。

とりわけ、まだ文化的な付き合いに慣れていない若い世代から社交の機会が失われるのは大きな問題だとし、「集まる自由」を駆使して社交という行為を続けるべきだ、と山極氏は強調した。

アジア学院でも、いつもだったら当たり前の風景—あちこちでちょこちょこ集ってはたわいのないおしゃべりをし、議論し、笑い合い、励まし合い、泣き合い—その体験を今若者は本当にありがたい、貴重な体験と捉えている。それを見るたびに、私たち大人たちは、もっともっと努力してその状況、「社交」の場をこのコロナ禍の中で作ってあげなければいけない責任があるのではないかと思うのだ。感染リスクがあるからということを経験として、思考をストップさせていないか。今まで蓄積してきた全知識、全経験を総動員するくらいの努力と工夫を惜しまなければいけない、それほどの文化の危機の問題だと思うのだ。

YMCAだより

【2月24日（水） ピンクシャツデー2021】

社会全体がいじめに対して「自分事として」向き合うこと、「傍観者にならないこと」がいじめられている人を救うことになると思います。今年も各拠点でピンクに染まりました。また、Zoomを用いてリーダーたちが集まり、講師を招いていじめや差別について考え、思いを出し合い一人ひとりが自分の思いそして「自分ではない誰かのために」考える機会となりました。



【2020年度スプリングプログラム募集開始!!】

「仲間と喜び・感動する春！」を合言葉に2020年度とちぎYMCAスプリングプログラム申込が2月16日（火）10時からはじまりました。昨年度はコロナウィルス感染症の拡大で実施ができませんでした。子どもたちとリーダーが出会い、今後の人生の礎となるような感動を子どもたちに届けていきます。

【宇都宮市子どもの家事業】

2021年度より戸祭小、昭和小、桜小、細谷小、宝木小、西が岡小、上戸祭小の7校（Cブロック）の子どもの家（学童保育）を「学校法人宇都宮YMCA学園」が宇都宮市の指定管理者として運営することになりました。同じく清原中央小、清原南小、

清原東小、瑞穂野北小、瑞穂野南小、瑞穂台小、ゆいの杜小（2021年度新設校）の7校（Gブロック）の子どもの家（学童保育）を「社会福祉法人とちぎYMCA福祉会」が宇都宮市の指定管理者として運営することになりました。

Cブロックの利用児童数は855名、Gブロックの利用児童数は700名で合計1,555名です。両ブロックの先生は合計で122名です。全14校の児童数は5,841名です。保護者や祖父母、知り合いなどのつながりを考えますと関係人口1万人ぐらいになるのではないのでしょうか。（現時点での予想）YMCAが今まで築き上げてきた信頼を失わないように努めます。お子様をお預かりするにあたり、これまでの子どもの家の運営・保育内容を引き続き継承し、保護者の皆様にとっても安心していただける活動を行ってまいります。子どもの家にかかわる全ての人と力を合わせて、子どもたちの健全な成長の場であり続けたいと願っております。

とちぎYMCA子どもの家事業部統括：松本法判
Cブロック担当 荒井 浩元
Gブロック担当 田沼 瞬

【とちぎYMCA・那須YMCAの3・4月の予定】

- ・3/6（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園（凧揚げ） 希望の凧揚げ@那須会場
- ・3/7（日） 希望の凧揚げ@宇都宮会場
- ・3/7（日） 防災デー@宇都宮市青少年活動センター（トライ東）
- ・3/14（日） Yキッズ@千本松牧場・那須が原公園
- ・3/16（火） 西那須野幼稚園卒園式
- ・3/16（火） さくらんぼ幼稚園卒園式
- ・4/1（木） 就業礼拝@宇都宮YMCA
- ・4/1（木）～2（金） 新入職員研修@宇都宮YMCA・トライ東
- ・4/3（土） とちぎYMCA職員歓送迎会@宇都宮YMCA

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名）
2. 学校名
3. 出身地
4. YMCAに入ったきっかけは？
5. 思い出に残った活動とその理由は？
6. 今後の進路は？
7. YMCAに一言

今月はお休みです。